

報道関係者各位

2020年10月29日

## Space BD、JAXA より新型宇宙ステーション補給船 HTV-X 1号機 における超小型衛星放出技術実証ミッション事業を受託 宇宙商社として衛星インテグレーション等を行う唯一の実施企業に選定

Space BD 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永崎将利、以下“Space BD”）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下“JAXA”）より、新型宇宙ステーション補給機（以下“HTV-X”）1号機で行う超小型衛星放出技術実証ミッション事業を受託し、搭載衛星インテグレーション等を行う唯一の実施企業として選定され、契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

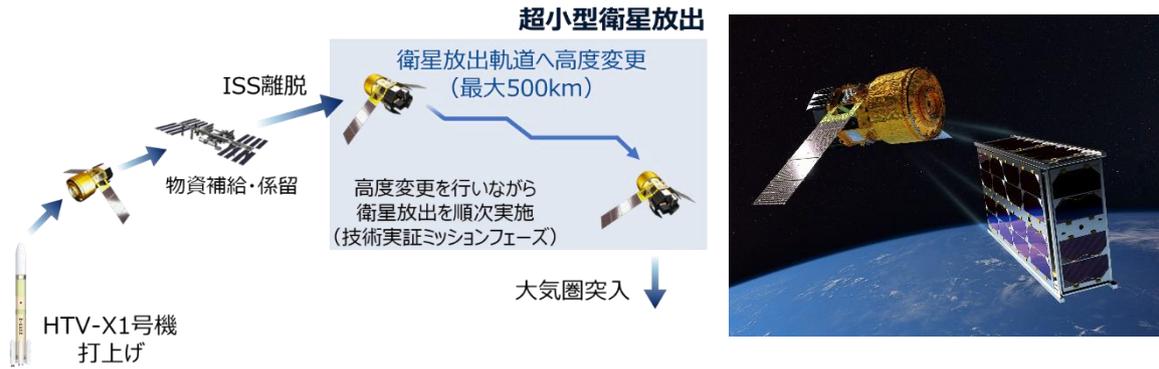


Space BD 代表取締役社長 永崎と JAXA 佐々木 有人宇宙技術部門長

HTV-X からの超小型衛星放出技術実証は、HTV-X の特長である自在な飛行能力を活かし、ISS よりも高い高度から衛星を放出することにより、超小型衛星放出の新たな需要を引き出す目的で実施されます。Space BD は日本唯一の専門宇宙商社として、当ミッションにおいて、ユーザーの開拓からユーザインテグレーションサービス、JAXA への衛星引渡しまでを一気通貫で執り行う予定です。

また、今回の取り組みは、今後 JAXA が行う衛星放出システムの開発段階から衛星放出事業の実施企業である Space BD が関与する新たな枠組みで実施され、JAXA と Space BD の双方が協力し、衛星搭載ケースの仕様調整や衛星放出に係るプロセスの構築を行います。

HTV-X は、国際宇宙探査への展開も視野に入れ、今後、自動ドッキング技術等を新規獲得し、月周回有人拠点「ゲートウェイ」への物資補給を目指しています。HTV-X に衛星放出能力が備われば、月周回軌道からの衛星放出といったミッションへの活用も期待されます。



ミッション概要イメージ(JAXA 提供)

Space BD はこれまでに、JAXA による民間開放案件である [国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」](#) (以下「きぼう」) からの衛星放出事業、「きぼう」船外実験設備利用事業、及び H-IIA 及び H3 ロケット相乗りによる衛星打上げ機会の提供事業の大型案件 3 件を民間事業者として受託しており、それらを含めて合計 52 機の衛星打上げサービス事業を受注しています。今回の選定を契機に、Space BD は国内外のユーザーに対してより多様な打上げ手段の提供を実現すると同時に、日本が保有する複数の輸送手段のユーザーインターフェースを統一させること等により、宇宙環境を利活用するユーザーにとって使い勝手の良い打上げサービス体制の構築を加速させる所存です。

代表取締役社長 永崎 将利のコメント



「今回 JAXA 様より選定いただいた HTV-X 1 号機からの衛星放出ミッションは、当社主力事業である衛星打上げサービス及び ISS 利用サービスにおいて培ってきた営業力と技術力が十分に活かせるものであり、JAXA 様との協調のもと、成功に向けて全力で取り組んでまいります。また HTV-X は、地球低軌道での経済圏確立のためのプラットフォームとして、また月以遠探査を支えるテストベットとして大きな発展可能性を持つ、我が国が誇る宇宙資産であると考えています。今回の選定をきっかけに、その価値最大化に資する取り組みをベンチャー企業ならではの発想とコミットメントにより進めていく所存です。」

## ■ Space BD 株式会社について

宇宙商社®の Space BD は、2017 年 9 月の設立以降、「宇宙の産業化」を加速していくことをミッションに掲げ、衛星打上げサービス、国際宇宙ステーション（ISS）の日本実験棟「きぼう」を活用した宇宙空間での実験サービス、宇宙関連機器調達販売サービス、プロジェクト型事業開発サービス、宇宙飛行士訓練方法を活用した教育事業等、幅広い事業を国内外で展開しています。

[www.space-bd.com](http://www.space-bd.com)

当社打上げサービスの利用に関するお問い合わせ

Space BD 株式会社

事業開発部（担当：大野）

Mail : [k.ohno@space-bd.com](mailto:k.ohno@space-bd.com)

Tel: 03-6264-7177

当プレスリリースに関するお問い合わせ

Space BD 株式会社

コーポレート部門（担当：原）

Mail: [m.hara@space-bd.com](mailto:m.hara@space-bd.com)

Tel: 03-6264-7177